

まさよ通信

郡上市議会議員 田代 まさよ 2022年 4月 No.7

議会は市民の思いが反映される場所

日頃から防災対策を強化 コミュニケーションを大切に
笑顔が見える支え合い お互いに見守り支える仕組み
健康を守り応援するまち 健診・検診を推進

やる気!
で行動
元気!
は取り柄
勇気!
を持って挑みます!!



第1回3月定例会が終わりました。令和4年に入り新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい市でも大変多くの方が感染されました。心よりお見舞いを申し上げます。一日も早くコロナの収束を願います。また、世界では考えられない侵攻が起き戦争となっています。議会でも決議文を提出しました。私は断固として戦争には反対をしております。一日も早く平和が訪れることを願います。

令和4年第1回定例会報告 2月24日～3月24日

専決、条例関係(新規・一部改正)、R3年度補正予算やR4年度当初予算などの議案を含め55件

令和4年度当初予算 グラフ参照

コロナ禍で税収も減る中、皆様に、より手助けになれますように、市政の評価・監視を行って参ります。

決議1件

ロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議について
(全会一致で採択)

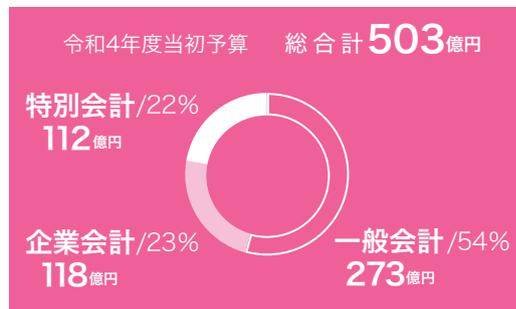
請願1件

日本政府が核兵器禁止条約締約国会議にオブザーバー参加することを求める意見書提出を求める請願について
(賛成少数で不採択)

議報告6件

空き家対策と議会改革に関する特別委員会の廃止

私の所属していた「議会改革特別委員会」では、議会におけるICTの活用推進について積極的に取り組み、その結果、令和4年度から議会へのタブレット端末の導入が決定されました。



お知らせ

12月定例会において行った、「ダンボールコンポストを使用した生ごみにおける環境対策をして頂けないか。」との質問に対して、行政が「生ごみ減量大作戦」と銘打ち、生ごみの減量に取り組んで頂くことになりました。

＼スタート!／



コンポスト (compost) とは?

堆肥のこと。家庭から出る生ごみや落ち葉、下水汚泥などの有機物を、微生物の働きを活用して発酵・分解させ作ります。

この活動は、ごみの焼却・処理から排出される**二酸化炭素を削減**し、肥料にすることで**地球に還元**することができます。一人でも多くの方に参加いただき環境安全につないでいきたいです。美しい未来を残しましょう。



3月定例会 私の質問と市の答弁

■ 精神障がい者への理解について

質問

精神障がい者ご本人はもとより、家族の方々は精神障害についての理解がされないことに、日々悩み続けている。また、精神障がい者への地域の理解が進んでいないと感じている。精神障がい者への差別を無くすため、どのような周知活動や支援を行っているか。

答弁

田口健康福祉部長

精神障がい者への理解の促進としては、郡上CATVの行政情報番組を制作し放映している。令和3年度には、「知ってほしいな、精神障がいのこと」と題し、代表的な症状の解説や、困りごとを紹介し、市民に理解を呼び掛けた。精神障がい者の方の自立支援として、宿泊型自立訓練施設や、労継続支援B型事業所での支援、「ひまわりの丘障害者就業・生活支援センター」と連携し就労支援を行っている。今後も、理解を深めるため、郡上CATVや広報誌などでの周知啓発、民生委員・児童委員などへの啓発、ヘルプマークや思いやりマークの普及とともに、理解や自立に向け、周知啓発・支援に努める。



ヘルプマーク



思いやりマーク

■ 停電時の対応について

質問

冬の季節には着雪などにより停電がおきることもある。災害時に自分の命は自分で守るためにも、日頃からの備えは大切で備える必要がある。しかし、4時間以上も停電すると、一人暮らしの方や病人を抱えてみえる方、子どもたちにとっては不安しかない。正確な回復時間はわからなくとも、広報無線で知らせてもらえないか。メール配信サービスなども、安全で安心して暮らせるように、ほんの少しの情報提供で不安がとりのぞけるのであるなら行ってほしい。

答弁

古田総務部長

停電発生時の該当地域への広報無線による周知は、電力会社からの要請に基づき行う。今回の停電の際は、要請はなかった。しかし、今回の状況を踏まえ市民周知の方法について検討をし、改善してほしい旨、要望を行った。また、メール配信サービスでは、旧町村単位の登録者全員の方に情報を伝えることになる。このため、現在は停電情報の周知はメールでは行っていない。

質問

いざという時に慌てないためにも、平時の折にひとり暮らしの高齢者を訪問する方が、停電時の行動について確認しておくことが大切と考えるがどうか。

答弁

田口健康福祉部長

停電時の備えや行動も含めた災害時における対応を本人が検討できるような機会を作りたい。

◎その後、電力会社に問い合わせたところ「実態は把握をしており、今後は地域の方々にご心配をおかけしないよう情報提供に努める」とのお話をいただきました。

■ 教員不足について

質問

学校の先生が足りず、子どもたちにしわ寄せが行き、学びに障害が起きないとも限らない。市では、教員不足になっていないか。

答弁

佃教育次長

現時点では、教員不足は生じていない。欠員が生じたときは、人材を確保できるよう努める。

質問

教員の多忙化や過重労働といわれ、過酷な職場とされている教職員に対する考えは。

答弁

熊田教育長

学校職員の働き方改革については、今年度も少しずつ改善されている。子どもたちがあこがれを抱くような魅力ある教員が育つような研修の工夫や、具体的な指導や激励を継続し、郡上市の教職員の質の向上を図っていく。